

ダイオキシン国際会議 2026 オットーハッチンガーアワード受賞のお知らせ

Eight Days of PFAS でイタリアのダイオキシン国際会議会場からオンライン講演をいただいた Welmoed Nauta 氏が、現地でオットーハッチンガーアワードを受賞しました。同学会での PFAS 研究発表での受賞は、産総研の谷保佐知 副部門長が 2003 年に初めて受賞、その後現在まで、20 名以上の博士号取得者他、30 名近い関係者が同賞を受賞しており、30 年近く連綿と続く研究者哲学が期待できます。

受賞講演は下記となります。特に受賞の理由の一つとして「土壌中 PFAS 挙動を実験科学的に理解するための信頼性の高い基礎科学的アプローチ」が評価されており、PFAS 対策技術コンソーシアムで重視、SMART-PFAS でも指摘されている、[科学的に証明されたエビデンスを用いて PFAS 対策技術を構築する事的重要性](#)が再確認されました。

Known and Unknown Organofluorine Behavior in Soil-Activated Carbon Systems: From Batch to Column Scale

Welmoed Nauta, Felicia Fredriksson, Sachi Taniyasu, Nobuyoshi Yamashita and Leo Yeung

